

住吉市民病院

現地建て替え求める

大阪市民の会が運動強化へ

住吉市民病院（大阪・市住之江区）問題で、「住吉市民病院を充実させる市民の会」は7日、議会報告会を開き、付帯決議にもとづ



現地建て替えを求め運動を強めようと開かれた報告会＝7日、大阪市

く民間病院の誘致に至っていない中、公立病院として現地建て替えを求め、署名活動など運動を強めることを確認しました。59人が参加しました。

日本共産党の井上浩市議が、6月3日の市議会民生保健委員会で

の現地建て替えを求めた質問を紹介し、「ここで運動をゆるめずに『公立病院として責任を果たせ』の声をみなさんと共にあげていきたい」と話しました。

住之江区医師会の松嶋三夫会長と府職労の有田洋明委員長、大阪

市労組の竹村博子委員長が連帯あいさつ。松嶋氏は「どんな民間病院の提案があっても橋下（大阪）市長が約束した付帯決議以外のこととは認めない」とのべました。付帯決議は、住吉市民病院の産科・小児科等の機能存続と南部医療圏の小児・周産期医療の充実のため責任を持って民間医療機関を誘致するとしています。

市民の会の松本安弘事務局長は、大阪市が残った住民投票の結果を受けて、住吉市民病院廃止条例を撤回し、住吉市民病院の現地建て替えを求める陳情署名を9月市議会に向け、1万5千人分を目標にとりくもうと呼びかけました。